

なきごえ



1983

3

大阪市
天王寺動物園協会

動物と私



遠藤 悟 朗

「トランペットは吹けなくとも、豆腐屋のラッパは吹けるだろう……」ヤクシマシカを新らしい小屋に移し、以後毎日広場に放しラッパで呼び集めることを命じられたのは、私が上野動物園に勤務したてのころでした。

それから約ひと月、飼育の先輩たちに広場の外側を警戒してもらい、万一の脱出にそなえていよいよ本番です。シカを広場に出しましたが、元の仮小屋の近くをうろつくだけで、100m離れた新らしい小屋のほうまで探索しようとはしないのです。

「プーウー、プーウー」少し離れたところに呼び集めてえさを与える。このようにして次第にシカを広場にならすいっぽう、行動する範囲を広げるようにしてゆき、初めての小屋にラッパひとつで移すことができました。訓練している最中、ラッパの音になれたものなのか、それとも私のしぐさをシカ達が察知して行動しているのか不安でなりませんでした。とくに、手順の関係でラッパを持たずにえさを置きに小屋に行き、しばらくしてラッパを携えて小屋に近寄るだけで私のほうを追っていたりしたからです。

低い手すりのテンジクネズミ（モルモット）の柵内には、監視の目をぬすんでは柵内に入り込みます。見つけては子どもたちに外へ出るようにうながし、出終わったのを見とどけその都度カギの束を振ってモルモットを集めます。列になって滑り台のような道を通り、私の手の届くほどのところに集めます。日に10数回は行なっておりました。いつとはなしにこのことに「モル寄せ」の名前がつけました。

広場に放してあるヤギを子どもたちと一緒に呼び集めます。方法は一ヶ所に皆が集まり拍手するだけです。これには「ヤギ寄せ」の名前がつけました。

口笛はガチョウとアヒルを小屋に呼びもどす合図です。ガチョウを園内歩かせて子どもがいっしょに散歩するときには口笛は使いません。それぞれの動物の動作を、子どもがいる前でいつでも見られるようにとつとめておりました。

現在埼玉こども動物自然公園では「キリンとかけっこ」が定着しつつあります。広い運動場内をキリンが走る、見ている子どもたちも濠の外の園路を走る。キリンが止る、子どもも止る。子どもが走る、キリンも鼻を鳴らしながら一緒になって走り出す。キリンが来園して4か月ごろに自然発生したあそびですが、初めのころは何度も制止しようかと考えたものでした。でもキリンは濠や柵を意識しているようで、もう心配はなさそうです。

牛乳の手しぼり、バターの手造り、大小のウマの乗馬などなど、子どもたちが動物公園のなかでできることを、一つでも多く開発したいものだと思います。しかしなんでもできるだけではなく、触れることのできないようなものには説明用の器具だとか、いわゆる二次資料の開発も必要です。

カンガルーの袋を模して作ったエプロンは、カンガルーの説明にはたいへん便利です。エプロンでわかってからベネットワラビーの袋の収縮の様子を見るのです。ワラビーは親子共ども放しがいいにしていますし、個体によってはさわられるものもいます。そして小屋に帰らせる合図は「割竹の音」といった状態です。

いまでは「動物と私」ではなく、「動物と職員みんな、そして子ども」の毎日です。

（埼玉県立こども動物自然公園長）

なきごえ3月号もくじ

動物と私	2
“リュウキュウイノシシお目見え”	3
動物園グラフ・動物園日記	4・5
天王寺の歴史をさぐる ②	6・7
ニュージー君と3羽のヒナたち	8・9
動物相談コーナー	10
動物園ニュース	11

表紙の写真撮影

“アオエリルリサンジャク”

ブラジル北部からアルゼンチン北西部にかけて住むこの鳥は名前の通り美しい瑠璃色が印象的です。

交尾行動様の動作が見られていますので今年には繁殖に期待が持てそうです。

（撮影：長瀬 健二郎）



“リュウキュウイノシシお目見え”

2月11日にリュウキュウイノシシ一つがいが沖縄県八重山地区中学校新聞教育研究会から贈られ、一般公開されました。西表島産のこのイノシシはニホンイノシシに比べかなり小形です。

（撮影：宮下 実）



ヨーロッパコウノトリ
(昭和39年 5月10日孵化)

動物園グラフ

“繁殖賞受賞動物 —その3—”

繁殖賞というのは日本の動物園で初めて繁殖し、しかもその子が6ヶ月以上成育することに成功した場合に日本動物園水族館協会から与えられる賞で、動物園にとって大変名誉ある賞です。

(1976年12月号、1981年 6月号も御参照下さい)

(構成：長瀬 健二郎)



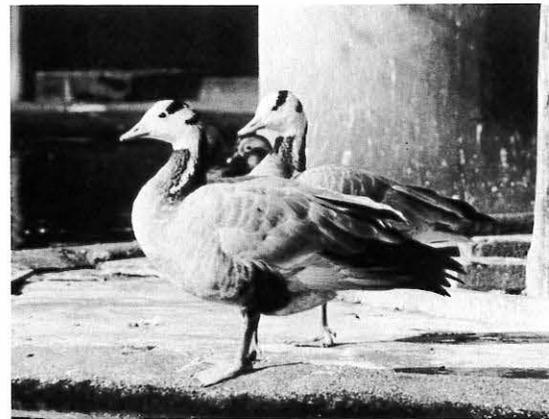
イエローアナコンダ
(昭和52年 4月 9日誕生)



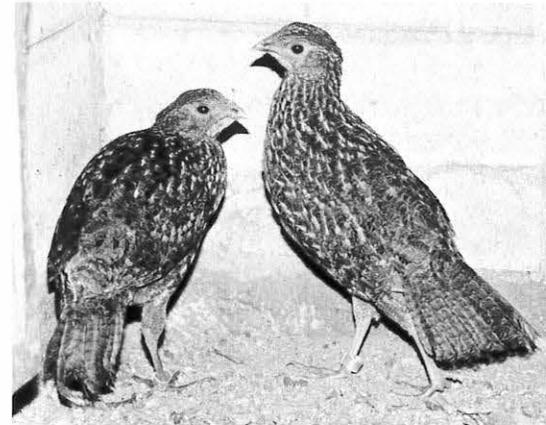
インドミノキジ
(昭和57年 5月17日孵化：申請中)



ブラックバック
(昭和56年 1月24日誕生)



インドガン
(昭和53年 7月 3日孵化)



ベニジュケイ
(昭和54年 6月16日孵化)



ダルマインコ
(昭和56年 6月30日孵化)

1・2月の動物園日記

- 1 / 17. 脱出猛獣捕獲訓練が行なわれました。
- 1 / 18. イワトビペンギンが産卵しました。
- 1 / 19. カンムリシギダチョウの体調がよくないので入院させました。
- 1 / 20. ウグイスを1羽保護しました。オセロットの雄が食欲を示さず、後足がふらつくので治療を開始しました。
- 1 / 21. ゴリラの雌“ラリ”が口内炎を起こしはじめたので治療を開始しました。
- 1 / 22. アジルテナガザルが雄の子を産みましたが残念ながら死産でした。

- 1 / 23. イワトビペンギンが2卵目を産みました。アカカンガルーの子が母親の袋から外に出るようになりました。
- 1 / 25. 水禽放養舎のタンチョウ7羽のうち1組にペア形成を確認しました。
- 1 / 27. キングペンギンのうち1羽のみ換羽が終了しました。
- 1 / 28. キングペンギンが産卵しました。
- 1 / 29. 定例飼育研究会が行なわれました。
- 1 / 30. キーウィのヒナ3羽の体重測定を行ないました。
- 2 / 1. クロサイとマレーバックに葉酸欠乏症予防のため投薬を行ないました。

- 2 / 2. インドゾウのハルコの腹が張り食欲が急になくなったので治療を始めました。
- 2 / 3. イノシシが皮膚病のため入院することになりました。
- 2 / 4. ホッキョクグマに駆虫薬を与えました。インドゾウのハルコの症状は消え、元気食欲ともに良好になりました。
- 2 / 6. ツル類の検便を実施しました。
- 2 / 7. マレージャコウネコが交尾しました。エトのおもちゃ展を撤収しました。
- 2 / 8. 昨年10月より治療を続けていたダチョウの雌がカビ性肺炎で死亡しました。
- 2 / 9. 昨年9月に保護したバンのヒナがほとんど

- 成鳥になったため放鳥しました。
- 2 / 11. リュウキュウイノシシのペアが沖縄県八重山地区中学校新聞教育研究会から当園に贈られました。贈呈式は午前10時よりとり行なわれました。
- 2 / 12. 右足を骨折したヒドリガモを保護し治療しました。
- 2 / 13. ムーアモンキーの雄が背中に咬傷をうけたので麻酔し治療を行ないました。
- 2 / 14. インドゾウの身体測定を行ないました。
- 2 / 16. コンドルが交尾しました。
- 2 / 17. ダマシカの雌が2頭入園しました。
- 2 / 18. イヌワシ舎に巣材を入れました。

天王寺の歴史を探る② 繁殖記録

§ はじめに

天王寺動物園は大正4年1月1日開園しました。以来68年間、様々な動物が入園し、市民の目を楽しませ、子供を作り、そして去って行きました。その数は延べにすると恐らく数万にも上ることでしょう。

今月は特に繁殖ということにスポットをあて、かつてどんな動物が初めて天王寺で誕生してきたかを記してみたいと思います。

§ 哺乳類

まず有袋目ですがハイイロカンガルーに昭和8年9月1日子供が生まれています。といってもカンガルーの出産する光景は余程好運でなければ見られませんからこの日付は仔を確認した日と思われます。

アカカンガルー、ダマワラビー、オグロワラビーも繁殖していますが、いずれも戦後のことです。



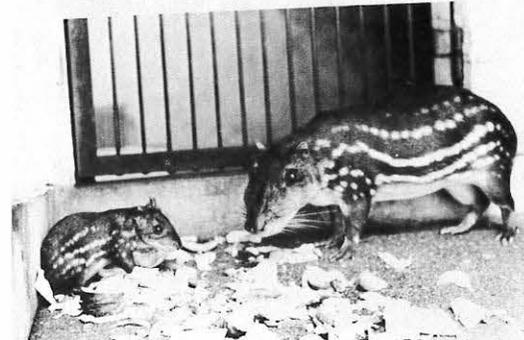
霊長目では昭和15年のチンパンジーがあげられます。大変残念なことに子供は死産でしたが、飼育すること自体がかなり困難とされていた当時に、リタと名付け大阪中の人気を一身に集めたと言っても過言でない人気物のチンパンジーに育て上げ、なおかつ受胎までさせたのですから、当時の飼育技術は十分評価されてしかるべきだと思います。

昭和7年、当時のベルギー領コンゴから入園したリタは2年遅れて入園したロイドと夫婦となり、昭和15年7月22日午後9時33分メスの仔を死産しました。仔の体重は1700gでした。かなりの難産であったようで翌日の夜明けリタ自身も死亡し、園全体が悲しみにくれました。

戦前の記録としてはカニクイザル、クロザル、マントヒヒ、タイワンザル、アカゲザルが昭和10年代に繁殖しています。また戦後ではボリビアリスザルが昭和51年繁殖し、これは日本初のもので日本動物園水族館協会から繁殖賞をいただいております。

齧歯目では戦後間もなく昭和26年にヤマアラシが

繁殖しています。この個体はその後何産かしました。また、アグーチ、ハリネズミ、パカではいずれ



も日本初の繁殖に成功し繁殖賞に輝いています。

食肉目では記録に残る古いものはライオンとアシカでどちらも昭和11年に繁殖に成功しています。またアルビノのタヌキが昭和15年に、キツネが昭和17年、と戦前戦中に繁殖しています。そしてスナドリネコが戦争末期の昭和19年に産出していますがこれは惜しくも死産でした。

戦後になると続々と産出が記録されクロヒョウ、ヒョウ、トラが昭和20年代、スカンク、ジャコウネコ、キンカジュウが昭和30年代に繁殖しています。



また、ミナミアメリカオットセイが昭和51年、ジャングルキャットが昭和53年に日本初の繁殖に成功しました。

奇蹄目では戦前の繁殖記録は見当りません。戦後ではグラントシマウマが昭和37年に繁殖し、昭和45年にはアメリカバクにメスの仔が生まれています。この仔は母親が面倒を見ないため人工哺育で育ちましたが、これは日本初のことでした。またクロサイに昭和47年、現在も当園で飼われているメスのサッチャンが生まれ、これは日本で3例目という珍しいものでしたので当時大変騒がれたものです。

偶蹄目では古く大正15年3月にフタコブラクダの



仔が生まれています。父親はモウコ生まれの豊橋経由で豊吉、母親は京都有ちで京子、と当時は珍しい事であつたらしく新聞にも大きくとりあげられています。

昭和に入ってから16年にカバが生まれています。昭和13年にも産出例はあったようですが死産であつたようで、16年に2頭目が生れる時は大事をとってプールの水を抜き、産直後またすぐ水を張り直す、と大変気を使って育てたことが当時の記録に残っています。またベイサオリックスが昭和30年、スプリングボックが昭和42年、モウコガゼルが昭和52年に産出、それぞれ繁殖賞を得ています。

§ 鳥類

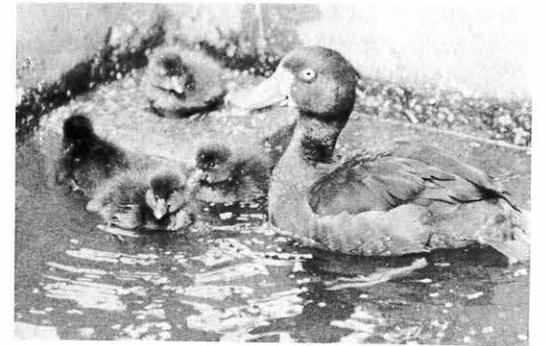
走鳥類では大正14年10月にダチョウが孵化しています。戦後では昭和49年に南九州のフェニックス動物園で孵化するまで他園では繁殖の記録が無かったのでこの大正期のダチョウの繁殖記録は当時としては大変なものであつたと思います。以後昭和13年、14年にも孵化しています。

またレアも昭和13年4月に4卵産卵がみられ内1個が6月に孵化しています。これも戦後では昭和50年に上野動物園で繁殖に成功するまでどの園館でも繁殖例の無いものです。

ペンギンは戦前から飼われていましたが繁殖例はなく、フンボルトペンギンが昭和32年、キングペンギンが昭和44年、ケープペンギンが昭和52年とそれぞれ戦後に繁殖しています。

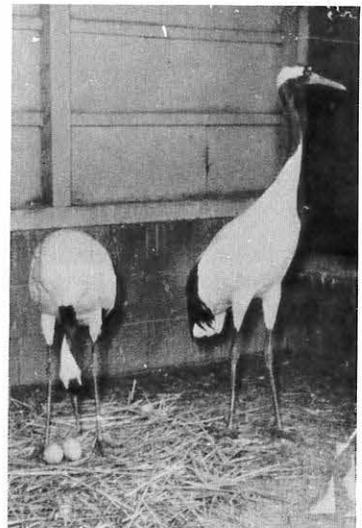
コウノトリ目の鳥で特筆すべきなのはクロトキで、昭和13年に孵化例があります。またコサギも昭和15年に孵化しています。また戦後、天王寺の名物とも呼ばれるべきヨーロッパコウノトリが昭和39年5月日本初の繁殖に成功し、以後昨年までその繁殖は連続と続いています。

ガンカモ目ではアメリカオシが戦前の昭和14年9



月繁殖し2羽のヒナが育成しています。また昭和45年のキンクロハジロ、昭和53年のインドガン、昭和55年のアカハシリウキウガモはいずれも日本で最初のものでした。

ツル目ではタンチョウが昭和2年から繁殖を始めています。この時と昭和8年は1羽でしたが、昭和



14年には2羽のヒナが誕生しています。

§ 爬虫類

爬虫類が本格的に飼育され始めたのはやはり戦後のことですので繁殖の記録もやはり戦後に集中しています。その中でもスジオナメラが昭和50年に、イエローアナコンダが

昭和52年に、またクリイロミズヘビが昭和53年に繁殖しそれぞれ繁殖賞に輝いています。

§ おわりに

これで開園からの繁殖記録をざっと記したわけですが、資料が散逸していたりして、かなり抜けている部分もあると思います。機会があれば更に詳しく資料を調べなおしてより詳しい正確な記録を残したいと考えています。

(飼育課・獣医師：
長瀬 健二郎)

ニュージーと3羽のヒナたち

はじめに

1982年、7月2日、12年前のニュージーの来園に合わせたように、同月同日、ニュージーランドから3羽のキーウィがやって来ました。オトロハンガキーウィハウスのロー園長が、人工ふ化・育雛に成功された7ヶ月令の中ヒナです。それから早いもので8ヶ月たちました。キーウィたちと同室で共にいる夜の時間は、30分～1時間で、ほんの生活の一端を垣間みるだけですが、私にとっては思いがけない素晴らしい時間でした。独断と偏見の感があるかもしれませんが、出来るだけ正確を期したつもりです。キーウィの不思議な魅力を汲みとっていただければと思います。

ヒナの人工餌について

人工餌についてはロー氏御自身に実演して見せていただいたので、心強い限りでした。つづめて言え



“ロンロン”

ば、オートミールのおかゆの中に、牛の心臓（あちらでは羊）を千六本に、大根なます状に切って混ぜ合わせたものです。それに少量のサラダ油、ふすま、添加剤が入ります。この添加剤がキーウィ独特のものだそうで、ロー氏の詳細な指示にもとづく天王寺動物園特製です。

ヒナたちは人工餌をすぐに食べてくれてほっとしました。心臓肉は300gですが少し残します。その他にミミズがふんだんに入っていますので、この頃はそちらへの移行が見られるようで、目の前で食べるのは、ロンロン1羽になっています。

ニュージーの対応

ヒナが来る事になったのは意外に早く、突貫工事がニュージーの観客用廊下で始まった時、一番心配だったのは、ニュージーにかかるストレスでした。音に敏感で、人間よりもずっと小さい音が聞えるのではないかとされるニュージーが、どれ程工事の騒音を恐れていたか、それは度々の周辺の工事の間中、いつもの時間帯に出て来ず、合唱も中止、という事からも判っていたからです。勿論工事中は部屋を横切って人々が通る事にもなります。園では、何よりも、ニュージーへの刺激が少い事を主

眼に、工事が進められました。祈るような気持の中で、ニュージーは見事な対応を見せてくれました。人々の配慮、そして今迄の工事馴れ、そんな中でニュージーは人間が必ずしも自分にとって敵ばかりではない、（ニュージーはワナにかかり、指が一本ちぎれています）巣から引き出される危険はないらしい、と理解してくれたのです。その証しのように、合唱こそする気になれなかったようですが、ニュージーは毎晩出て来てくれました。ヒナが到着して4日目には、夜おそくないているのがきかれました。

合唱は7月17日から。8月11日からは1晩2度合唱に戻り、出来る限り合唱したい様子で3度の時もあるという普通の状態に戻りました。しかし、機嫌よく、フンフン・ウッウッという事はなく、3ヶ月たって始めてウッウッという長いおしゃべりが出たのです。その



右“ジュン” 左“ダイ”

間、8月22日には、ヒナが合唱を始めていますので、ニュージーはひどく精神的に緊張したようです。これについては後に記しましょう。

ニュージーはずっと、ヒナが一番近い場所であるスチームの側へ寄りつこうとしました。よく私の座っているスチームの金アミの上へ座って来て、ウッウッと言って行ったり来たりしていましたが、ひとりでも200回も往復していたのを外から観察した事もあります。スチーム上にはいつも糞がありましたのに、全く糞も羽毛もなく、一時的にはのぼったにせよ、長くないのは確かでした。ごく最近、2月25日始めて糞があり、2月26日、私のいる横で、スチームの上のにぼって来て、ヒナとの境の扉を調べました。ニュージーはヒナのいる事は充分承知しており、しかも相手は自分より年少でまだ成熟しきっていないとの判断も持っていると思われるのですが、12年の長いブランクは、仲間に対する態度をかなり慎重なものにしているようです。

ヒナ達の経過

到着から一週間、チームが組まれて、10時まで、外からガラス越しの観察が持たれました。ヒナたちは人工哺育だけに余りものおじせず、光にもわりに

馴れており、この観察は貴重な記録として、いつか発表されると思いますが、誌面の都合上、ここでは省略させていただきます。

これから記しますのは、私が毎晩のニュージーとの合唱態度をそのままに、時間だけを今までより短縮した観察です。従って、ヒナとはニュージー側のガラス越し、ただし、声は出入口のアミ戸を通してよく聞えます。最初の時点では、ヒナの性別は不明でした。見ているうちにヒナの区別がつくようになり、（足に識別の色輪）名前をつけました。

ロンロン……ルンルン気分のヒナ。一番小さいが、一番人馴れしている。最初に足もとへ来て餌を食べた。(8/11)

ダイ……一番体が大きく、足も太く、嘴も長い。少し用心深いが、反面ダイナミックな面も見せる。

ジュン……温かな性格に見える。普通正面から奥の水辺付近にいる。他と争わない。

入室時、私はいつもきまって扉の所で声をかけ、“赤とんぼ”を歌って合図にしています。8月22日、入室と同時に妙なシャガレ声でキーウィの歌を歌ったのです。私に合せて、キーイ、キーイと。ヒナだ！まさか！私もびっくりしましたが、ニュージーも驚いたでしょう。しかし、猛然と気をとり直したように、それはそれは今までになく高く長い美しい歌を歌いました。ヒナはいわば、声変りの少年が無理に出している声をしています。

8月23日には、ニュージーの合唱中にヒナがわり込んで来ました。ニュージーはびっくりして一時中止、再びなき始め、ヒナとニュージーと私の三重唱？になりました。以下それぞれ状況が違うので面白いのですが、誌数の関係で月日だけにとどめます。時間は9時前後。

- S. 57 8/22. 8/23. 8/24. 8/28. 9/3. 9/11. 9/24. 9/28. 10/1. 10/20(違う声) 11/5. 11/6(違う声) 11/7. 11/8. 11/23. 12/18. 12/25. 12/27.
- S. 58 1/1 (ジュンを♀と確認) 1/8. 2/25. 3/1. (ロンロンを♀と確認)

この間、12月16日、ロンロンが嘴にけがをし、幸い約1ヶ月で元気ハツラツに戻るまで、すっかり心配させられました。嘴を真直に直立させ、首をちぢめたまま、キュンキュン言っている様子は実に痛々しいものでした。獣医師陣の応急手当が当を得ていて出血は少なかったものの、嘴の先に鼻のあるキーウィにとっては、随分つらい事だったろうと思います。しかし、ロンロンはけなげにも試練にたえ、3月1日、嘴を上下させながら、（キーウィ独特のスタイル）キーウィの歌を歌って見せてくれました。1月1日には、ジュンがいないのを確認しています

ので、ヒナの2羽は♀と、殆ど断定出来るのではないかと思います。勿論、私ひとりの観客ですから100%確実とは申せません。その点でも早く夜行性動物館が出来て、衆目の見るところ一致すれば安心なのに、と思われまます。

昨、3月2日夜、入室と同時に廊下でヒナがなき出し、ニュージーがわって入ると、又別のヒナもなき出し、私との4重唱？になりました。ニュージーのショックはひどかったようで、点灯してニュージーの部屋へ入るやいなや、アタックして、ズボンを嘴でつかんだまま、ミモヨモナイような感じでした。点灯中にアタックするのは初めての事です。スチームの処でヒナを見ていてもやって来てはアタックし、非常にせっぱつまつたような思いが、こちらにも伝って来て、せつない気持ちにさせられました。

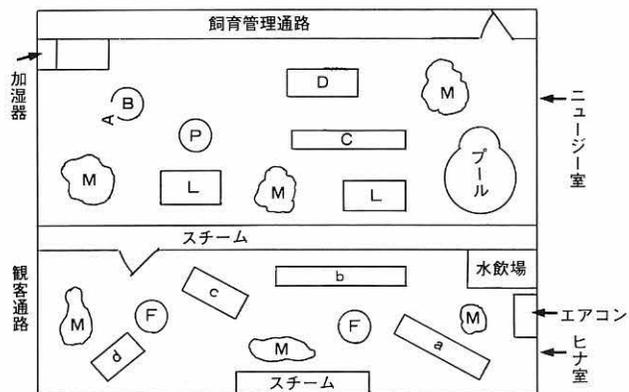
ヒナの方ははじめダイとジュンが仲よく、餌など並んで食べ、（今でも巣箱は一緒が多い）ロンロンはダイの傍へ行っては追い払われていたのですが、このところ、ロンロンとダイはすっかり仲よくなり、争う事はなく、戯れるように走り廻っています。代りにジュンが、どこか寂しそうにひとりできて、体重も減っているのが気になります。しかし、ないているのは、病気という事でもないのでしょうか。

おわりに

1羽の♀と（ダイは♀と考えると）3羽の♂、観察と飼育は、これからが面白くなるころですが、（私事ながら）私に残された時間はあと僅かです。親しく忘れ難いキーウィたちの将来に幸あれと祈りつつ筆をおきたいと思います。3月3日記す。

（飼育課：磯田啓子）

キーウィ舎平面図



- A. B. C. D. a. b. c. d. 巣
- M: ミミズ餌場
- P: パン
- L: ドジョウ
- F: ドジョウ人工餌

動物なんでも相談室 ②

動物園の人達は、あんなに沢山の動物をどうして区別しているのですか？

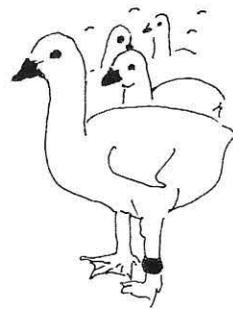
豊中市立第二中学校 松本幸次

飼育係の人達は自分の飼育している動物の顔や体の特徴を覚えていて、それぞれ自分だけのニックネームをつけたりしているようですが、それでも、数多くいるものでは識別はむづかしくなってしまいます。

動物園にいる一頭一頭は全て台帳に記録されていて、それにはその動物の生年月日、入園月日等、一番基本的な事項がまず記録されています。そして、その台帳をより正しくするためには、個体識別がされなくてはならない事は言うまでもありません。

そこで、識別のむづかしい鳥の仲間、たとえば、フラミンゴ・キジ・ツル等では、足環、ペンギンでは翼帯に必要な事項を記号で刻印し、とりつけたりしています。サル島のニホンザルでは胸に“いれずみ”をいれています。でも、足環ははずれたり、足をキズつけることもあって、まだまだ完全なものではないように思います。

その他、耳につけるイヤータグとよばれるものもありますが、家畜用の為、目立ちすぎて違和感もあ



1983年
連番 B-当園産(左足)
A-入園(右足)

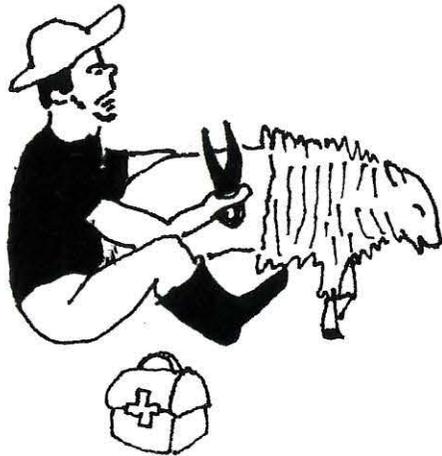
るようです、それに、どうしても物をつけたりできない動物もまだまだいます。しかし、どんなに用具や方法が改良されても、一目で見分けられる眼力は養っていかなくてはならないと思っています。尚、ゴリラやオランウータンでは、指紋をとって、世界中の動物園のものが国際登録されています。

(回答：飼育課 大野尊信)



羊の毛は、どうして刈るのですか。又、刈らないと、どうなりますか。

宝塚市長岡一夫



羊は大昔から、肉や脂肪、それに毛をとるため家畜化されました。天王寺動物園で飼育しているのはコリデール種とメリノ種とよばれる毛をとるため

に改良されたものです。そのため換毛することがなく毛はのび続け冬はとって暖かそうですが、夏には暑くなって、そのままでは熱射病になってしまいます。そこで、毎年、衣がえの日に(6月1日)飼育係の人達の手で、刈りとることにしています。しかし、とてもオーストラリアの牧場のようにはいりません。トラ刈りになったり、体も切れヨーチンをぬられる羊もいますが、4kg程の毛を刈られ身軽になった羊たちは、大阪の暑い夏も元気にすごせるのです。大阪の北部にある農場で2年も刈らなかつた羊がいましたが、体がよろいをかぶったようになっていました。平均温度が5度程度低い所だから、病気にならなかつたのでしょうか？

(回答：飼育課 大野尊信)

すてき満喫 近鉄クレジットカード

- 全国の近鉄流通グループ・都ホテルチェーンなどでワイドにお使いいただけます。
- カードをご提示いただだけで30万円までのお買物をお楽しみいただけます。
- 繰り延べ払い(リボルビング方式)・一回払い・ボーナス一括払いの3つのお支払い方法がごございます。
- 入会資格は20歳以上で2年以上お勤め、または自営の方です。



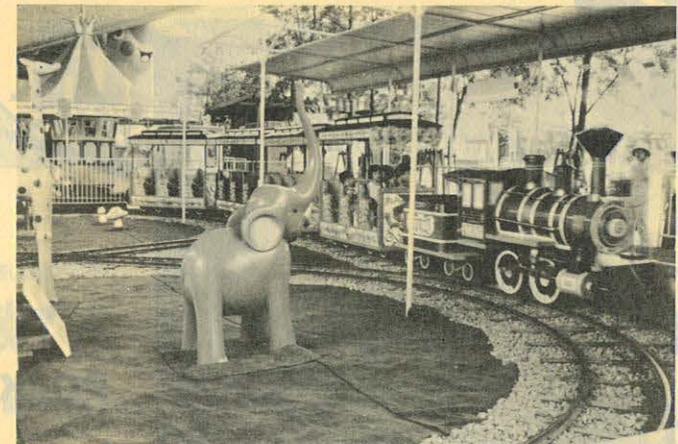
近鉄百貨店

お申込み・お問合せは 各店クレジットセンター
アベノ店 06(624)1111・上本町店 06(779)1231
東大阪店 06(783)1111・奈良店 0742(33)1111

近鉄百貨店グループ

大阪(アベノ・上本町)・東大阪・奈良・京都・枚方・和歌山・東京(吉祥寺)・四日市・松阪・伊勢・岐阜・徳山・別府

たのしいのりものが待っています。



1人1回
100円
(1才まで無料)

団体割引
(30人以上)
…… 1割引

◎園内3ヵ所(南園入口横、北園ステージ横、北園高架下)に各種のりものがあります。

久竹娛樂株式会社 ☆ 社団法人 大阪市天王寺動物園協会
(06) 541-3112 (06) 771-0201

動植物の生態をわかりやすく解いた楽しい幼児図鑑

こどものずかん

全 10 巻

●B5判・上製本・56頁
各巻定価650円

- ① みちかな どうぶつ
- ② のやまの むし
- ③ にわや かだんの はな
- ④ うみの いきもの
- ⑤ やさいと くだもの
- ⑥ どうぶつえん
- ⑦ のやまの くさき
- ⑧ みずへの いきもの
- ⑨ のやまの とり
- ⑩ きせつと しぜん

この図鑑は正確な絵と生態写真を使って幼児の観察力を養い育て、動植物への理解を深めるようにつくられています。カラーページには身近に見られる動植物を取り上げ、2色ページには観察や飼育・栽培をするときの心構えと要領がのっています。最寄の有名書店、百貨店で求めください。



ひかりのくに株式会社

〒543 大阪市天王寺区上本町3-2
☎ 06-768-1151 代表

◎ 動物のことなら あらゆることに
お役に立ちます。

- 飼育指導 (ペットよろず相談)
- ふれあい子供動物園
- ふれあい動物写生会
- 撮影用動物モデルリース
- 動物(ペット)、教材用生物販売、リース、交換、引取り、預り
- 各種飼料、器具販売、配達

110 自然から学ぶおもいやり

株式会社 アニマ

(いきもの110ばん)

☎ 06-863-1025 (代表)

〒561 豊中市利倉2丁目22-2

ポッカ コーポレーション

ご行楽に...

ポッカ
つぶちゃん
オレンジ



ビタミンC入り

POKKA P

スポーツアルカリイオン飲料

C-500

NET 250g
標準小売価格 ¥120

NET 250g
標準小売価格 ¥100

誰が押しても



ただフィルムを差し込むだけです。

自動装てん



ピント合わせはカメラまかせです。

自動焦点



次々とシャッターを押すだけです。

自動巻き上げ

撮り終わると同時に巻き戻されます。

自動巻き戻し

フジカオート7デート
標準価格49,800円
(本体47,800円/ケース2,000円)
標準価格はメーカーが希望する標準的な小売価格です

幼児の観
物への理
られてい
は身近に
上げ、2
育・栽培
要領がの
最寄の
でお求



大阪市天王寺動物園協会発行
「なきごえ」発刊200号特集記念
協 賛

獣医科 (イロハ順)

岩崎橋犬猫診療所

TEL (06) 551-1323
大阪市大正区三軒家西1-7-18
辻 栄 重

奥村獣医科

TEL (06) 211-8941
大阪市南区島ノ内2-8-34
奥村 弘

高岡獣医科

TEL (06) 471-1672
大阪市西淀川区野里2-2-5
高岡 秀和

高瀬獣医科

TEL (06) 971-7927
大阪市東成区大今里4-27-25
高瀬 一行

谷町獣医科

TEL (06) 941-7693
大阪市東区谷町4-20
池尾 信一郎

鶴野獣医科病院

TEL (0722) 33-0372
堺市一条通18-8
鶴野 整 傳

浦東獣医科

TEL (06) 631-3331
大阪市浪速区恵美須西3-6-11
浦東 信夫

福留獣医科

TEL (06) 322-6290
大阪市東淀川区下新庄1-11-7
福留 慶彦

藤井寺動物病院

TEL (0729) 54-5630
藤井寺市御舟町1-3
是枝 哲世

芦屋家畜病院

TEL (0797) 22-3961
芦屋市打出小槌町46
岩崎 孝泰

境川獣医科

TEL (06) 582-0252
大阪市港区市岡元町1-1-1
松村 一 弥

東田獣医科

TEL (0726) 82-3297
高槻市名神町3-8
東田 和 弘

.....ぼっちゃん
.....おじょうちゃん

どうぶつえんへ.....
いらっしゃいませ.....
ごきゅうけいは.....
おしょくじは.....

動物園内北園

中央売店

☎ 06-771-0973

たのしい動物のお話は、
ガイドマシン(動物説明機)で、どうぞ!!



園内、主要動物舎
30数ヶ所にあります

1回 20円

関西特機株式会社 ☆ 社団法人 大阪市天王寺動物園協会
(06) 762-2333 (06) 771-0201

幼児の観物への理
られてい
は身近に
上げ、2
育・栽培
要領がの
最寄の
でお求



天王寺動物園内

南園売店

代表者 松谷良子

大阪市天王寺区茶臼山町6-74
電話 (771) 7110番

園内での写真は...

動物園協会指定写真部へご用命下さい!!

カラー写真 キャビネ1枚 500円

撮影無料にてキャビネ1枚をサービスさせて戴きます



◎随時係員が待機して
おりますのでご説明
に伺いました際は、
よろしく願い致します。

動物園協会
指 定

国際航空写真株式会社

豊中市蛸池西町3丁目555 関西国際空港ビル内
大阪営業所 TEL 06-856-7444

動物園ニュース

§ クロオオカミ出産!!

一昨年10月に、中国の上海動物園との第4次動物交換で来園したクロオオカミの“平平”、“義義”夫婦に待望の赤ちゃんが2月22日に8頭も生まれました。

クロオオカミは、中国のチベット地方に生息する一亜種で、中国でも稀少動物とされており、今回の成功はたいへん意義のあることでしょう。

両親は、雌雄共に1980年3月26日生れで、そろそろ繁殖が可能と思われていたところ、昨年12月20日から5日間にわたって交尾行動がみられました。妊娠の可能性が十分あり、1週間ほど前から産室を暗くしたり、わらを敷くなど出産準備をしていましたが、22日の朝出産が確認されました。妊娠期間は、最終交尾から数えて59日でした。

母親は非常に落ち着いており、哺乳もさせていたのですが、初産であるうえに8頭も出産していたので、母親が全頭を育てることは無理と判断し、翌23日に4頭(♂1、♀3)を人工哺育に切り替えること



にしました。自然哺育の4頭の性別はまだ確認されて

いませんが、共に非常に元気です。8頭とも無事に育ってほしいものです。5月のゴールデンウィークには、かわいい姿をお見せできるでしょう。

§ リュウキュウイノシシの来園

昨年7月に大阪中学校新聞連盟と沖縄県八重山地区中学校新聞教育研究会との間で、中学生の交歓活動が実施されるようになり、それを記念して沖縄からリュウキュウイノシシが贈られることになりました。一番のリュウキュウイノシシは、2月10日に来園し、



翌11日には石垣市立中学校の代表者や昨年、八

現在の飼育動物数 (1983年1月31日現在)

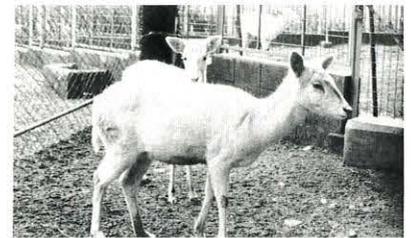
哺乳類	8目	96種	397点
鳥類	20目	202種	717点
爬虫類	3目	43種	96点
計	31目	341種	1210点

重山を訪れた今津中学校の生徒さんら関係者が出席し、贈呈式が行われました。

来園した2頭は、リュウキュウイノシシの南限の生息地である西表島で、昨年捕獲されたものです。本土のイノシシより体格は小さく、体毛も黒味がかかっています。亥年にふさわしいプレゼントをいただき、さっそく北園のヤギ舎横に展示しました。

なお、沖縄から大阪までの輸送には、大阪大手前ライオンズクラブと日本航空及び南西航空の御協力をいただきました。

§ シロダマシカの来園!!



2月17日、昨年10月に雄2頭のうち1頭が死亡し、

すっかりさみしくなっていた、南園ダマシカ舎に雌2頭が仲間入りしました。

残っていた雄は、1979年に当園で生まれ、人工哺育で育ったもので、やっとお嫁さんを迎えることができました。現在、網越しに見合いをしていますが、まもなく同居させることができそうです。

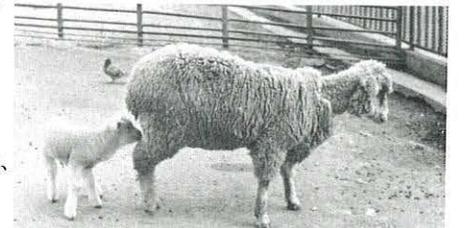
来園した雌は、共に3~4才で、熊本動物園で生まれたもので、来春の繁殖が望めそうです。

§ 出産シーズンの幕明け

クロオオカミの他にも、1月25日には、メンヨウの雄の赤ちゃんが生まれています。

動物園では

これから出産シーズンで、今後ともバーバリー



リー Sheep、ブラックバック、ニホンザル、カリフォルニアアシカの赤ちゃんなどが次々生まれることでしょう。3月終りにはキジ類の産卵も始まりますし、現在、交尾行動が見られているコンドルや連続して産卵しているタンチョウなども産卵することでしょう。

* 休園日のお知らせ *

動物園の休園日は毎月第3月曜日です。5月までの休園日は下記の通りです。

3月22日(火)、4月18日(月)、5月16日(月)、
開園時間は午前9時30分~午後5時で、午後4時に切符売止めになります。

なきごえ 昭和58年 3月15日発行(毎月1回15日発行)

編集/大阪市天王寺動物園

発行人/大阪市天王寺動物園協会 中川道朗

印刷所/株式会社 松村善進堂 定価100円(送料共)

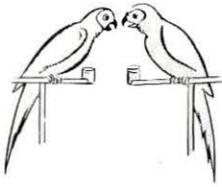
第19巻 第3号(通巻211号)

〒543 大阪市天王寺区茶臼山町6-74

電話 大阪 (06) 771-0201

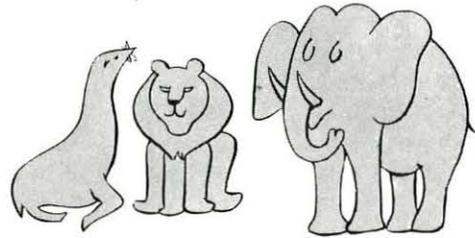
振替口座 大阪 37823

1年継続(12部)1,100円(送料共)



鳥獣輸入

全国動物園水族館御用達



- ・医学実験用動物
- ・愛玩犬、猫直輸入
- ・宣伝用、テレビ用、貸動物
- ・教材用鳥獣剥製販売
- ・原色世界雑類図鑑(34種1枚もの)要郵便券150円・鳥獣価格表100円

有限会社 吉川商会

本社 神戸市生田区中山手通三丁目二八番地 電話(078)221-8195・221-1517

飼育場 神戸市葺合区神仙寺通三丁目一番地 電話(078)241-3494



自然の
おいしさ

全糖

- 合成甘味料・合成保存料・合成糊料・合成着色料はいっさい含まれていません。



雪印ヨグール

各130cc.=90円

パイン・オレンジ・ストロベリー・フルーツカクテル

編集委員

橋本 一郎・土井 良彦・樽本 勲・中川 哲男・宮下 実・長瀬健二郎・榊原 安昭・森本 委利・大野 尊信
 葭谷 文彦・農本 武志・野口 秀高・仲谷 登・小出 雅三・板野 健一・石島 宏胤・柴田 総